

# 研修修了判定と受験申請

2022年3月

# 注意事項（専攻医）

- ▶ 最終研修歴が2022年3月31日までで登録されていることを確認してください。
  - ▶ 2022年4月以降の日付は認められません。終了日が2022年4月以降になっている場合は修正してください。
- ▶ 最終研修歴に紐づく自己評価を早めに登録し、指導医への評価依頼を速やかに行ってください（研修項目評価・多職種評価・専攻医からの評価）。
  - ▶ 施設での研修終了時（1年以上同施設にいる場合は少なくとも1年に1度）行います。指導医と相談の上、3月に入ったらすぐ行って構いません。
  - ▶ 専攻医が自己評価をしたあと、指導医の評価が必要です。時間に十分な余裕をもって指導医に評価依頼をして下さい。

# 注意事項（専攻医）

- ▶ 経験症例の登録を早めに行ってください。
  - ▶ 2022年3月31日まで診療が継続する予定の症例であっても、診療期間の終了日を早めに登録しても内容として差し支えない場合は、早めの日付を終了日として構いません。
  - ▶ 登録した経験症例全体で、疾患種別・治療場面・治療形態の必要数を満たしていることが必要です。
  - ▶ 専攻医が登録したあと、指導医の確認が必要です。時間に十分な余裕をもって指導医に確認依頼をして下さい。
- ▶ 疾患種別、疾患名、ICDをよくご確認ください。
  - ▶ 同一疾患名で異なる疾患カテゴリーで登録可能なものがあります。例えば、F43.2適応障害は「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害,摂食障害」及び「児童・思春期精神障害」で選択可能です。

# 注意事項（専攻医）

- ▶ 研修修了判定依頼後は、登録内容を修正出来なくなります。
  - ▶ 症例報告は、研修期間に登録された経験症例から選択して作成することになりますので、治療場面・治療形態の選択を十分検討し、数に余裕を持って経験症例を登録してください。
  - ▶ 症例報告の作成に際し、経験症例の変更がないかよくご確認ください。症例報告の作成をある程度進めた上で、修了判定の依頼を行うことをお勧めします。
- ▶ システムロックがかかってしまった場合、代理登録申請を受け付けています。学会事務局までお問い合わせください。
  - ▶ 受験申請期日までに対応が可能な代理登録申請期日は、**2022年4月17日受付分まで**となります。

# 注意事項（専攻医）

- ▶ 研修修了判定を依頼する前に「承認依頼中」「確認依頼中」「評価依頼中」のデータがないことを確認してください。
  - ▶ 依頼中のデータがあると研修修了判定依頼が出来ません。
- ▶ 学会発表歴が1つ以上登録されていることを確認してください。
  - ▶ 学会発表歴が1つ以上登録されていないと研修修了判定依頼が出来ません。

# 注意事項（指導医）

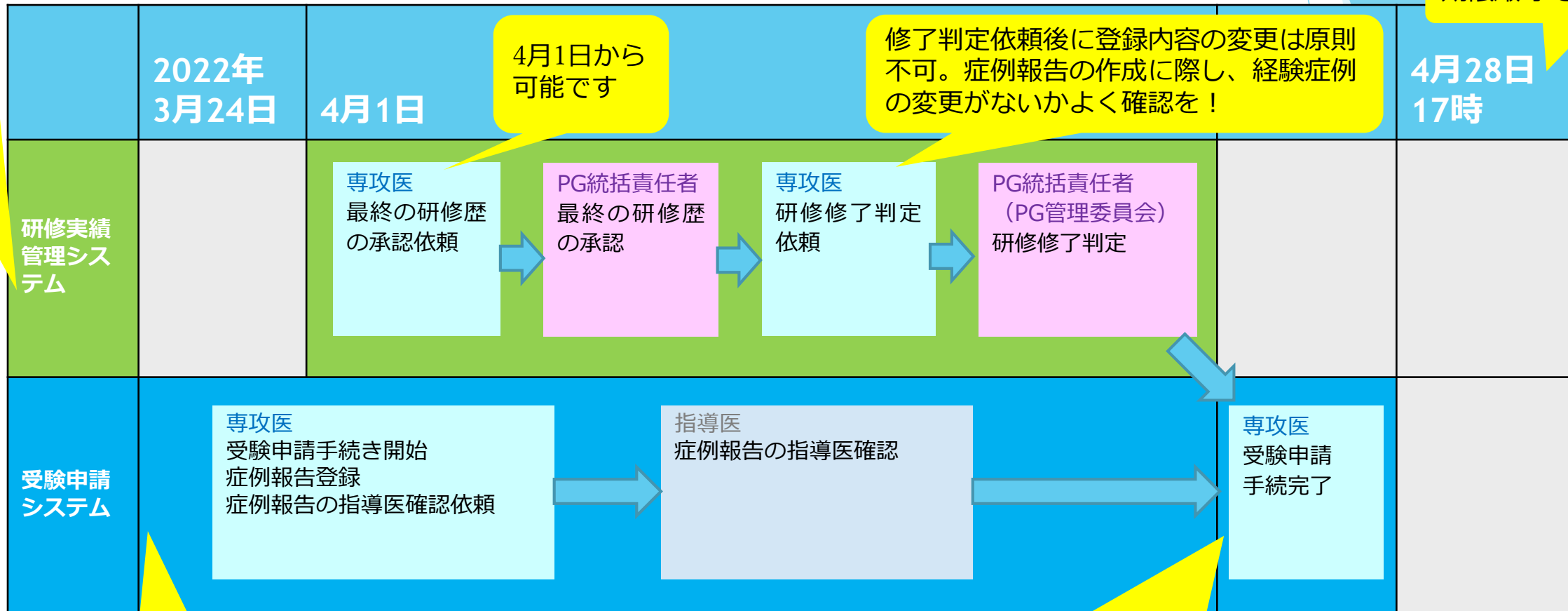
- ▶ 各評価の指導医評価登録（研修項目評価・多職種評価）や経験症例の指導医確認を早めに行ってください。
  - ▶ 指導医評価の登録、経験症例の確認が終わらないと、専攻医が研修修了判定依頼ボタンを押せません。

# 研修修了判定と受験申請の流れ

2019年4月1日研修開始の専攻医

期限厳守です

受験申請手続きと並行して行うことができます



研修修了判定前から受験申請を開始できます

受験申請手続きの完了は研修修了判定後でなければなりません

# 研修修了判定と受験申請の流れ

2019年3月31日までに研修開始の専攻医

期限厳守です

2022年  
3月24日

最終の研修歴の終了日翌日から可能です

修了判定依頼後に登録内容の変更は原則不可。症例報告の作成に際し、経験症例の変更がないかよく確認を！

4月28日  
17時

研修実績管理システム

専攻医  
最終の研修歴の承認依頼

PG統括責任者  
最終の研修歴の承認

専攻医  
研修修了判定依頼

PG統括責任者  
(PG管理委員会)  
研修修了判定

受験申請システム

専攻医  
受験申請手続き開始  
症例報告登録  
症例報告の指導医確認依頼

指導医  
症例報告の指導医確認

専攻医  
受験申請  
手続き完了

研修実績管理システムと並行して行うことができます

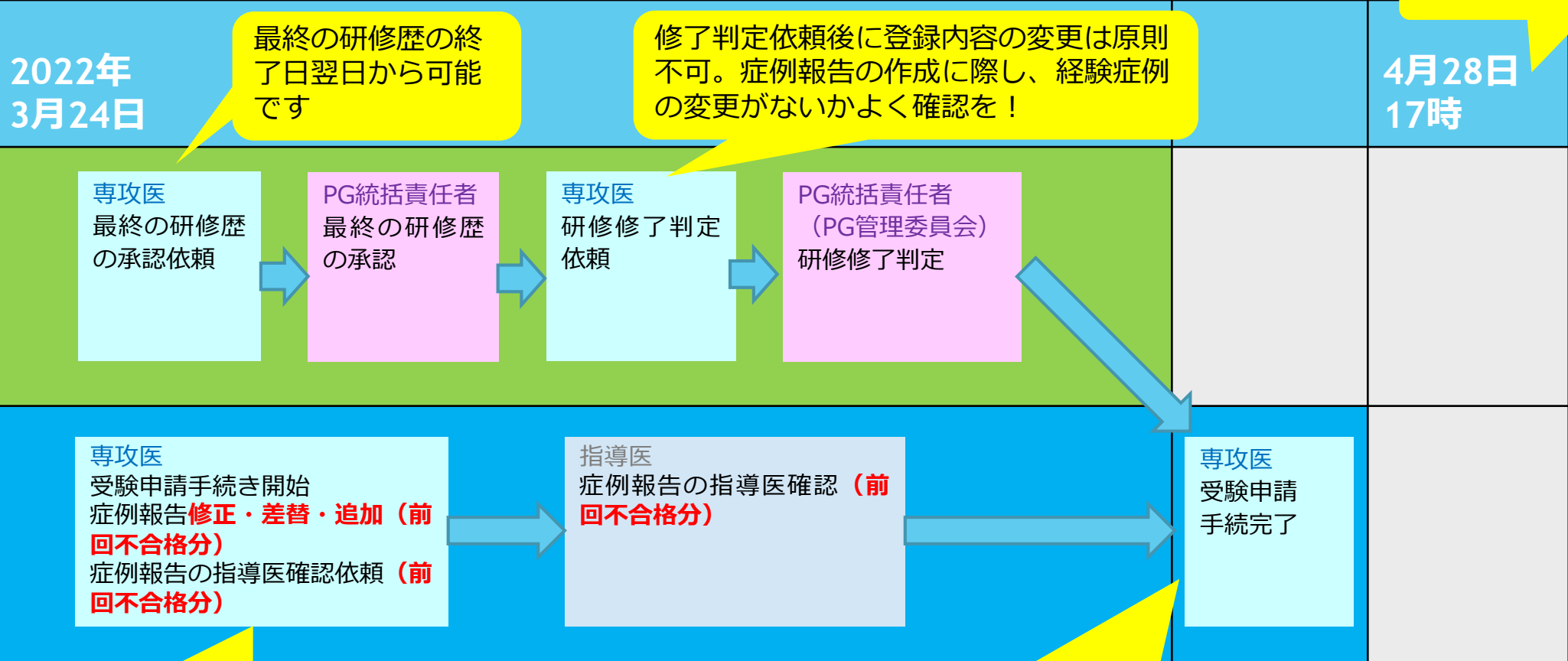
受験申請手続きの完了は研修修了判定後でなければなりません



# 研修修了判定と受験申請の流れ

再受験の専攻医（研修中に戻した方） ※2022年3月15日までに『研修修了判定差し戻し願』の提出が必要

期限厳守です



研修実績管理システムと並行して行うことができます

症例報告修正・差替は前回不合格分のみ可能です

受験申請手続きの完了は研修修了判定後でなければなりません

# 研修修了判定と受験申請の流れ

再受験の専攻医（研修中に戻していない方）

期限厳守です

	2022年 3月24日	経験症例の修正は不可です	4月28日 17時
研修実績 管理シス テム			
受験申請 システム	<pre>graph LR; A["専攻医 受験申請手続き開始 症例報告修正・差替・追加 (前回不合格分) 症例報告の指導医確認依頼 (前回不合格分)"] --&gt; B["指導医 症例報告の指導医確認 (前回不合格分)"]; B --&gt; C["専攻医 受験申請 手続き完了"]; style A fill:#e0f7fa; style B fill:#e0e0e0; style C fill:#e0f7fa;</pre>		

症例報告修正・差替は前回不合格分のみ可能です

# その他 研修延長する場合

- ▶ 研修修了要件を満たしていても、諸事情により研修を延長することは可能です。事情の如何は問いません。
  - ▶ 専門医試験に備え、規定より多く経験症例を登録したい、等も可能です。

# その他

## 研修修了後すぐに受験しない場合

- ▶ 研修修了後、諸事情により受験申請までに期間が空くことは差し支えありません。ただし、以下の点に注意してください。
  - ▶ 研修修了から受験可能な期間は5年間です。
  - ▶ 症例報告に使用できる症例は、研修期間中に経験症例として認められたもののみです。次年度以降の受験時は、研修修了までに登録した経験症例から選んで、症例報告を作成する必要があります。研修修了後の症例は使用できません。
  - ▶ 研修修了判定を受けた後に、研修中の経験症例を追加することは原則できませんので、十分注意してください。やむを得ない場合は、学会事務局にご連絡ください。

# その他

## 専門医試験不合格となった場合

- ▶ 研修修了後、専門医試験を受験したが不合格となった場合の対応については、学会ホームページへ掲載されておりますので、必ずご一読ください。